

議会報

飯南

いinan

- 02 9月議会報告 可決された主な議案
決算審査特別委員会設置
- 03 陳情
各会計補正予算
- 04 一般質問
- 07 討論 採決の結果
- 08 意見書
- 10 常任委員会報告
全員協議会の議題 議会活動報告
- 12 明日を拓く

第63号
令和2年10月20日



9月定例会を終えて

9月8日から18日までの11日間で開催

新型コロナウイルス感染症対策と6月・7月豪雨による災害復旧費を中心に6億9千万円を超える大型の追加補正予算を可決した。地域の活力を損なわないためにも、感染予防に配慮したうえで、イベントや懇談会・懇親会など従前からある活動を如何にして継続・発展させていくかが重要となる。萎縮するばかりではなく、知恵を出し合い課題を解決していきたい。

可決された主な議案

条例関係

飯南町来島拠点複合施設の設置及び管理に関する条例の制定、飯南町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の制定など11件

予算

令和2年度飯南町一般会計補正予算(第6号)など8件

諸議案

R元頓原町民野球場照明灯改修工事請負変更契約の締結など2件

報告

令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告など2件

議員提出議案

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- ・国土強靱化、老朽化対策を含む地方の社会資本整備の推進を求める意見書

陳情

琴引フォレストパークスキー場運営継続についての要望

- 〔陳情者〕 島根県スキー連盟 会長 渡部 紀美
- 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会
- 〔審査の結果〕 継続審査

琴引フォレストパークスキー場の営業継続について

- 〔陳情者〕 島根県高等学校体育連盟 スキー専門部 部長 高橋 尚彦 (県立飯南高等学校長)
- 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会
- 〔審査の結果〕 継続審査

琴引フォレストパークスキー場の営業継続についての嘆願

- 〔陳情者〕 島根県中学校体育連盟 会長 古藤 浩夫
- 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会
- 〔審査の結果〕 継続審査

「少人数学級制度の拡充を求める意見書」を国に提出することを求める陳情

- 〔陳情者〕 松江市母衣町55 ゆきとどいた教育をすすめる島根の会 代表 小松 雪乃
- 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会
- 〔審査の結果〕 不採択

「現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書」を県に提出することを求める陳情

- 〔陳情者〕 松江市母衣町55 ゆきとどいた教育をすすめる島根の会 代表 小松 雪乃
- 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会
- 〔審査の結果〕 不採択

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出

- 〔陳情者〕 島根県町村議会議長会 会長 山中 康樹
- 〔付託委員会〕 総務厚生常任委員会
- 〔審査の結果〕 採 択



決算審査特別委員会を設置

令和元年度飯南町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。

- 委員長 景山 登美男
- 副委員長 安部 丘
- 委員 伊藤 好晴
- 委員 瀧尻 行雄
- 委員 門 眞一郎
- 委員 高橋 英次

【令和2年度 各会計補正予算】

一般会計 6億9025万円 増額

新型コロナウイルス感染症対策にかかる飯南病院への補助金及び出資金6784万円の増額、7月豪雨による災害復旧費2億6433万円の増額、定住促進賃貸住宅整備費2293万円の増額、琴引フォレストパークスキー場の運営継続補助金2300万円の増額、小中学校児童・生徒のオンライン授業等実施のための環境整備3413万円の増額など

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	6億9025万円	87億3280万円
特別会計	国民健康保険事業	482万円
	介護保険サービス事業	70万円
病院事業会計	7158万円	13億5744万円
下水道事業会計	690万円	5億4409万円

一般質問

9月定例会



内藤 眞一 議員

Q 林業政策の進捗は

平成30年度に5年計画でスタートした「飯南町森林資源活用林業魅力化プロジェクト」は、「地域商社」を通じて、飯南町産材の利活用の促進、安定的素材生産体制構築とともに林業魅力化に係る人材育成・人材確保・人口拡大を図る事業だが、現在の進捗状況は。

A 滞っている

町長 山崎 英樹

初年度(平成30年度)は、10か所の林業関連事業所を訪問して実態調査を行い、2年目(令和元年度)は、人材育成、講演会、販路の開拓を行った。3年目の今年度は、地域商社の設立を具体化することとしていたが、コロナ禍の影響で滞っている。引き続き、検討委員会で検討を加えながら、成果が表れるよう知恵を絞り、推進していきたい。



町内森林での作業風景

Q 防災士の活動支援を

防災士は、NPO法人日本防災士機構(※)が、講習や認定試験を通して、防災の意識・知識・技能を持っている人を認定する民間資格である。

A 資質向上のために支援

町長 山崎 英樹

町内で30余名が認定され、今年8月に「飯南町防災士連絡会」が開催されたが、この連絡会の目的は何か。資格取得には、受講料、受験料、登録料など6万円程度の費用が必要で、町が支援している。ところが実際の活動への金銭的支援はない。活動時の費用弁償や日当はもとより、連絡会の活動や意見交換会が自主的にできるような支援が必要ではないか。

平成29年から防災士養成に取り組み、現在32名が資格を取得している。本年8月に、防災士を中心とした自主防災組織の充実強化を目的として「飯南町防災士連絡会」を設立した。連絡会には、地域の実情にあった避難行動を追求するため、来年の「飯南町防災訓練」を防災士の立場から検討してもらおう。

(※)NPO法人日本防災士機構
日本経団連が主導となり「自助・共助・協働」を原則として地域の防災リーダーを育成。自然災害において個人や民間組織、公的機関と力を合わせて「減災」の力になってもらうという目的で設立された。

防災士は、地域防災力向上のために「自助・共助・協働」の精神で活動されることから、日当・費用弁償というのは違和感がある。防災士資質向上のための研修会の経費、自主防災組織育成の支援は必要であり、予算措置もしている。

一般質問

9月定例会



伊藤 好晴 議員

Q 制度の周知徹底を

生活福祉資金の特例貸し付け(緊急小口資金・総合支援資金)、住居確保給付金制度、生活保護制度、社会保険料等の猶予(国保料・介護保険料の減免等)など、拡充された制度の利用は極めて低い。利用が進まないのは、周知・徹底が弱いのが原因。利用を飛躍的に伸ばすため、これまで以上に周知・徹底を図る必要がある。

A 足りないところは取り組む

町長 山崎 英樹

困ったときには保健福祉センターへ相談に行つて欲しい。周知・徹底は、足りざるところがあれば取り組む。発熱時の外来は、県や保健所が検討している。具体的な対応方法が示されたら住民に知らせる。全住民へのワクチン無償接種はしない。これまでと同様に取り組む。



窓口で対応する職員

飯南病院の負担軽減のため、インフルエンザの流行期を迎えようとしている。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは見分けるのが難しいと言われている。さらに、10月以降は発熱した場合、かかりつけ医が相談先になる。医療従事者には大変な苦勞をかける。

Q 学校給食を無償に

子どもの貧困が問題になっている。世代を超えて連鎖しないことが重要である。子どもの貧困は、学校でもうまくいかないケースが多く、大人になってからの生活も不安定で、貧困が世代をまたぎ引き継がれる問題も提起され、町としての責任も問われる。

A 総合振興計画で検討

町長 山崎 英樹

今期の総合振興計画に検討事項として掲げており、5年かけてというわけではないが、「学校給食無償化」「高校までの医療費無償化」両事業の必要性、継続性など検討する。

A 支援は行っている

教育長 矢飼 斉

数多くの自治体で取り組まれ、少子化対策としても注目を集めている給食費無償化を提案する。定住対策の一環としても有効である。

子どもの医療費無償化をはじめ、学校生活に必要な支援は行っている。総合振興計画の中で検討する。



学校給食の様子

一般質問

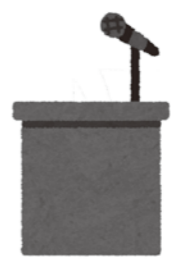
9月定例会



高橋 英次 議員

Q 退任決断の理由は

行政報告で、町長が今期限りで退任するとの表明があった。その理由として
・今期の就任当初から考えていた
・新町建設計画に描いた「生命地域」として、一定のまちづくりが達成できた
・次の段階の「生命地域・飯南町創造」に向け土台ができた
・赤来町時代を含め5期20年で区切りをつける
とのことだが、詳しく聞かせて欲しい。



A 2つの理由で

町長 山崎 英樹

退任とする理由は大きく2つあるが、1つは、飯南町のまちづくりの継続性の上から。合併協議会により新町建設計画を策定し、それを基に平

成27年までの10年間を期間とした総合振興計画を実施した。現在は、令和6年度までの第2次総合振興計画を執行中で、本年度から後期計画の5年間がスタートしたが、この間に第3次総合振興計画を策定することになる。第3次の計画策定・実施は、同一のリーダーで行うのが最良の流れである。飯南町は「生命地域」を理念としてまちづくりを進めてきた。町政運営では、旧2町の融和を最優先課題とし取り組み、早くに一体感が醸成でき今日の飯南町を築くことができた。

Q 次のリーダー像は

次期町長にはどのようなリーダー像を描いているか。

A 住民を大切に

町長 山崎 英樹

飯南町を愛し、住民の皆さん一人一人を大切にするリーダーが望まれる。

飯南町は「生命地域」を理念として誕生した。この理念は将来に向けても大切な。行政施策においては、新しい時代に即した視点、切り口で練り直しも必要だが、これまで築いてきたまちづくりの本質を理解する人が望ましい。



飯南町役場本庁舎

討論

飯南町図書館の設置及び管理に関する条例の改正

来島複合拠点施設に設置される図書館を条例に追加する

賛成討論 伊藤 好晴議員

本条例改正に付随して、頓原図書館の休館日が土曜日・日曜日となる説明があった。令和元年度の1日の平均利用者数は、平日の6・35人に対し、土日は7・48人であり、土日の利用者数が多い。

教育委員会は2館になることで、図書館職員を現在の3名から1名増員する予算要求をしたが、現状維持の予算となったため、措置とのこと。

以前、公衆トイレの設置を求めた一般質問に、交流センターとんぼらを利用して欲しいとの答弁がある。頓原図書館を土日に休館するとトイレもままならない。土曜日・日曜日の開館を強く求める。

令和2年度飯南町一般会計補正予算(第6号)

小・中学校のネットワーク環境整備事業と情報機器整備事業

総額3413万円

賛成討論 伊藤 好晴議員

タブレット端末を購入し児童生徒に貸与、学力の向上を目指すとしながら、現場での活用方法が具現化されていない。

機器が納入される見通しの3月までに活用方法を具体化し、児童生徒が活用できる体制を整えることを求める。

ることを求める。

「少人数学級制度の拡充を求める意見書」を国に提出することを求める陳情

新型コロナウイルス危機の中で、子どもたちの命と健康を守り、成長・発達を補償するため、国に対し意見書の提出を求める採択すべき 伊藤 好晴議員

文部科学省は「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」の中で「感染リスクが高い『3つの密』を徹底的に避けるためにも、身体的距離の確保(ソーシャルディスタンス)といった『新しい生活様式』に、学校を含めた社会全体が移行することは不可欠である」としており、それを実現するには少人数学級が最良の策と考える。

「現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書」を県に提出することを求める陳情 採択すべき 伊藤 好晴議員

島根県は来年4月から、これまで35人としていた学級編成を38人に改める。陳情の例えでは、38人いる学級では、今年までは2クラスだが、来年には1クラスとなり「3密を避けるどころか密集を作り出す方向に動く。

新型コロナウイルスの危機が収まる状況にない中、子どもたちを危険にさらすような学級編成は凍結すべきと考える。

採決の結果

【9月定例会】

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	安部 丘	景山登美男	高橋英次	内藤眞一	熊谷兼樹	門眞一郎	瀧尻行雄	伊藤好晴	小野 覚
専決処分の承認を求めることについて(令和2年度飯南町一般会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための飯南町職員の特殊勤務手当の特例に関する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町来島拠点複合施設の設置及び管理に関する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町学習支援館の設置及び管理に関する条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町支所設置条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町監査委員条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町定住及び雇用促進条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和解すること	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第6号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計補正予算(第4号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【追加提案】

R 元頓原町民野球場照明灯改修工事請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第7号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【9月定例会における陳情の採決結果】

「少人数学級制度の拡充を求める意見書」を国に提出することを求める陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●
「現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書」を県に提出することを求める陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【9月定例会における議員提出議案の採決結果】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国土強靱化、老朽化対策を含む地方の社会資本整備の推進を求める意見書	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対



議員提出議案 意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

記

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがなくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

① 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

② 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。

③ 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることか

ら、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

④ 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税法体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。

⑤ 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



国土強靱化、老朽化対策を含む地方の社会資本整備の推進を求める意見書

今般の新型コロナウイルス感染症の流行により、東京など大都市部への過度な人口集中は、感染拡大のリスクを高め、甚大な経済的被害を与えることがわかった。また、生産の海外依存度の高さが、国内サプライチェーンの脆弱性を浮き彫りにしたところである。このようなことから、地方への人口や諸機能の分散、サプライチェーンの国内回帰は論を待たないところである。

一方で、近年は雨の降り方が激甚化、局地的になっており、全国各地で毎年大規模な水害が発生しており、県内でも江の川流域において、平成30年7月、今年7月とわずか2年の間に2回、浸水被害を受けた。

以上のことから、我が国がリスクに対応できる強靱な経済・社会構造を構築するには、まず地方において、生活・経済活動のベースとなる、また安全・安心を確保する、道路ネットワークの構築や河川改修などの社会資本の整備、近年激甚化する自然災害に対応した防災・減



災対策と既存のインフラ機能を維持・回復させる老朽化対策などの喫緊の課題に、集中的に取り組むことが必要である。

加えて、生産性の向上や民間投資の誘発に直結する交通基盤など社会資本の重点的な整備は、コロナ禍で落ち込む地域経済を回復させるうえで、より一層必要となる。

ついでに、感染症の拡大防止とともに、地方創生を力強く進める前提となる社会資本整備を推進するため、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

記

① 令和3年度予算において、地方の安全・安心な生活の確保と定住人口の増加、地域活力の向上に資する社会資本整備に必要な予算を十分に確保すること。

② 社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、農業農村整備事業予算等については、道路ネットワークや農林水産基盤の整備、防災対策、河川改修、土砂災害対策、各施設の老朽化対策など、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること。

③ 平成30年豪雨に続き、わずか2年の間に2度の浸水被害を受けた江の川流域の治水事業予算を大幅に増額するとともに、遅れている斐伊川水系改修予算を十分に確保し、治水対策を早急に進めること。

④ 中国横断自動車道尾道松江線の補完道である国道54号の改良整備を促進し、陰陽交通の安定確保に努めること。

⑤ 令和2年度で終わる「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊

急対策」を長期の計画に改め、継続すること。併せて、地方負担分を軽減する措置も含め必要な予算・財源を別枠で安定的に長期にわたり確保し、これまで以上に強靱な国土づくりを強力かつ継続的に進めること。

⑥ 施設の老朽化に関わる点検や点検結果に基づく修繕の実施など老朽化対策の推進に必要な予算を従来の予算とは別に確保すること。また、補助対象を拡大し、確実に所要の予算を配分するとともに、地方負担分についての地方財政措置を拡充すること。

⑦ 地方自治体が老朽化対策を進めるにあたり課題としている技術職員の不足など技術力に関し、国や地方整備局の体制を強化し、支援を図ること。

⑧ 新型コロナウイルス感染症の流行で、大幅に停滞する地方の経済・雇用を下支えする公共事業を含めた令和2年度補正予算を措置すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



飯南町立図書館の設置及び管理に関する条例の改正

飯南町来島拠点複合施設内に飯南町中央図書館を開設するにあたり、条例を改正する。

これにより、町内の図書館は2館となるが、館長1人と司書2人体制は変わらない。

飯南町頓原図書館を土・日曜休館して対応するとし

ている。休日に家族で図書館を訪れ、本を楽しむことが一般的であるとし、改善を求めた。

しばらくこの体制で運用し、利用者の動向を見るところの方針が示された。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第6号)

琴引スキー場外臨時管理費 2300万円

スキー場運営継続補助金を交付する予算であり、このうち2000万円は県からの特別交付税が充てられる。

スキー場は、2年3年先を見通すことができるのかとの質問に、見通しは極めて厳しい状況であり、この補助金がなければ、今期休止の考えだったと回答があった。

今後も、このような財源が得られる保証がないため慎重に対応すること。スキー場を取り巻く環境について情報収集に努めるよう求めた。

小学校ネットワーク環境整備事業 1062万円 小学校情報機器整備事業 1243万円 中学校ネットワーク環境整備事業 521万円 中学校情報機器整備事業 587万円

すべて、GIGAスクール構想に係る予算。

要保護・準要保護の家庭には接続料の負担が重いのではないかと。また、機器の運用について目標が設定されておらず、事業計画が明確でない指摘した。

教育委員会からは、現場がどのように活用すべきか見えておらず、今後使用しながら考える。後日、頓原中学校のタブレットを活用した授業を視察する機会をつくるとの回答だった。

当委員会は、家庭の事情で教育環境に差ができることがないように配慮すること、機器導入が目的化しないように事業計画を設定し、提示するよう求めた。

常任委員会報告

総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第6号)

【歳入】 特別交付税 2000万円

琴引フォレストパークスキー場に対する島根県の支援分。

【歳出】 ふるさと応援寄附促進事業 17万円

観光協会へ委託しているふるさと納税業務は、問い合わせが急増しており、既存の電話回線では業務に支障が出ている。ビジネス用電話回線を導入し対応する。

価値ある飯南暮らし創生事業 1039万円

総合振興計画後期基本計画の集落別UIターン移住者目標を達成するための支援として、新たに1地区500万円の補助金を交付。

町立保育所業務委託 105万円

産休明け保育の早期実施に向けた保育士及び調理師の派遣に要する経費。

子育て日本一の名に恥じぬよう、人材の確保に努め、早期職場復帰を希望される皆さんの願いを達成できるよう求めた。

賦課徴収臨時管理費 248万円

税・保険料・水道料等におけるコンビニ収納、電子決済を導入するためのシステム負担金。

災害対策臨時管理費 997万円

来島基幹集落センター解体工事に、基礎杭の撤去費用を追加する。



解体される旧来島基幹集落センター

審査意見

来島基幹集落センター跡地に予定される消防センターの設置位置は、来島拠点複合施設への出入り、駐車場機能及び冬季の除雪対策、また通学路があることなど周辺環境を総合的に判断し、決定されたい。

したがって、基礎杭の撤去については、消防センターの位置・規模などを十分に調査・検討し、必要最小限とするよう求めた。

全員協議会の議題

令和2年7月28日(火)

- ① 7月豪雨災害状況と専決処分について
- ② 令和2年度知事要望について
- ③ 新型コロナウイルス感染者の発生について

令和2年8月21日(金)

- ① 新型コロナウイルス関連事業について
- ② 琴引フォレストパークスキー場の運営について
- ③ GIGAスクール構想に向けた対応方針について
- ④ 自動運転長期実証実験について
- ⑤ 飯南町みんなでつくる「価値あるいいなん暮らし」創生補助金について

令和2年9月18日(金)

- ① 飯南町総合振興計画等評価委員会答申について
- ② 知事要望について
- ③ 新型コロナウイルスへの対応について
- ④ 飯南町立図書館について
- ⑤ 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)説明会について
- ⑥ JA農産加工事業の存廃について
- ⑦ ふるさと応援寄付金の金額改定について

議会活動報告 [7月~9月]

- 7月 2日 教育経済常任委員会
- 6日 議会広報編集委員会(紙面校正作業)
- 9日 議会広報編集委員会(紙面校正作業)
- 16日 総務厚生常任委員会
- 28日 全員協議会

- 8月 17日 島根県町村議会議長会 議会広報研修会(松江市)
- 21日 全員協議会
- 27日 雲南広域連合議会定例会

- 9月 3日 議会運営委員会(9月定例会の提出議案、日程ほかの協議)
- 8日 9月定例会(本会議、町長提出議案の説明)
- 11日 (本会議、一般質問)
- 14~17日 (常任委員会審査、予算特別委員会審査)
- 18日 9月定例会(本会議、討論、採決) 全員協議会
- 24日 議会広報編集委員会(議会広報誌編集作業)
- 28日 議会広報編集委員会(議会広報誌編集作業)
- 29日 来島拠点複合施設竣工記念式典

伝統芸能を未来へ

飯南神楽団 団長

石飛 康則さん（頓原）

現在の団員数と活動は

総勢17名で、全員が舞手や奏など、どんな役割もできるように取り組んでいます。

今年で結成15年を迎えました。年末には記念公演をやりたかったのですが、現在の新型コロナウイルスの状況から来年に延期する決断をしました。

例年なら大小合わせて年間30公演を行っています。

今年は正月と2月に1回ずつ、9月に入り19日に八神、20日に谷、10月24日に三次の3回シエで舞うことで、計5回の公演となりますが、他の神楽団に比べると多い方です。

新型コロナ禍で団員のモチベーション維持に苦労が多かったのでは

一人ひとりが感染拡大防止の策をキチンと守って、絶対この神楽団から感染者を出さないということと、いつでも練習を再開できるようにしておこうと申し合わせはしていました。それと今年は色んな衣装を直したり、新調したり、それができなくなる度に皆に見せて、再開時にはこれが着られるよなど話してきただけで、その辺もモチベーションを下げずに来られた理由じゃないかと思っています。



練習指導 熱い思いを伝える

飯南神楽団の特徴は

とにかく元気がある。よそにはない迫力を出せることですね。声も腹から出せるよう、日頃の喋りでもトーンをあげて声が出るよう個々に努力をしているようです。奏楽もメリハリを



演技指導中の石飛さん

つけて盛り上がりを出せるように指導しています。若い団員がもう少し経験を重ねるとより味が出てくると思います。

飯南神楽団が最初に習った基本があるので、これは絶対に崩さないようにしています。

今後の目標は

神楽が途絶えることなく継承されて行くこと。団員が神楽の魅力を伝え続けて、若者がこの神楽団でやってみたいと思ってくれるような神楽団であり続けたい。

今は、飯南高校生が来年度の神楽甲子園を目指して活動を開始しています。団員が指導に携わっています。本当は、毎週二日の練習に子どもにも参加してもらいたいけど、時間的に無理があります。

地域の方々や町民の皆さんの応援のお陰で活動できています。声がかかれば出向き、迫力のある公演を見ていただくことでお返しをしたいと思っています。

今月の表紙写真



華やかな衣装と躍動的な囃子を舞台に舞う飯南神楽団。この日は八神のさつき会館での敬老会慰問公演で「山姥」を舞いました。抗う坂田金時に眼光鋭く囲む源頼光と渡邊綱が挑むという人気のある一場面、情感豊かな渾身の舞い姿に感動の拍手が鳴りやみませんでした。コロナ禍で披露できない日々が続く中でも、練習には余念のない飯南神楽団の原動力は若者たちです。神楽も飯南町の大切な宝の一つだと再認識しました。

編集後記

山崎町長は今期限りで退くと表明しました。飯南町長として16年間ご苦労様でした。

合併当初は、夕張市の財政破綻を受けて厳しい財政指標が設定され、飯南町は島根県で実質公債費比率が最悪と報道される中で、町長はじめ全職員の給料カット、議会もこれに協力したという、そんな時期でした。

9月7日の山陰中央新報には、松江市出身の太田充さんが財務事務次官に就任され、インタビュー記事が掲載されました。目に留まったのは「国の借金は国民の借金だ」との発言箇所でした。

お気づきの町民の方もおられると思いますが、この度の国債を発行して国民全員に10万円を交付した特別定額給付金は、国全体の貸借で見ると、政府の負債増は国民の資産増になる事実を明らかにしました。

政府の負債を国の借金と言い換え、国民に転嫁する悪質なすり替えがこの30年間行われ、消費税増税によるデフレ・シエの進行で国民の生活のみならず、地方自治体の運営も圧迫して来ました。このような中で行政運営は大変でした。ご苦労様でした。

議会広報編集委員 門 眞一郎